

水上オートバイによる事故増加中！

事故事例

- ① 水上オートバイの船長Aは、後席に友人を乗せて航走中、他の水上オートバイを避けるため急ハンドルを切ったところ、その反動で後席の友人を落水させてしまい、友人は右肋骨3本骨折及び血気胸等と診断され、約1ヶ月間入院することとなりました。
- ② 水上オートバイの後席に乗っていた20代女性が、旋回中の水上オートバイから落水、直後にジェット水流を下半身に受け、直腸損傷等の重症を負いました。
乗船当時の女性の服装は水着のみで、ウエットスーツを着用していませんでした。
- ③ 水上オートバイに友人を同乗させ無資格で航走中、棧橋の橋梁下を通過した際、橋梁下突起構造物に船体及び友人の頭部を衝突させ、友人が意識不明となりました。

「急発進」「急旋回」等による同乗者の落水事故が相次いでいます！
また、落水時に、**ジェット水流**が**体の開口部から体内に流入して大ケガ**をする事故も発生しています。

ジェット水流の威力はとても強く、**水着の着用のみ**ではジェット水流の体内流入を防ぐことはできません！



事故を防止するために…

- ①・操縦時は**見張り**を徹底し、避航動作は余裕を持って行いましょう！
・同乗者が落水しないよう、**急発進・急旋回**は行わないよう心掛けましょう！
- ②・操縦者及び同乗者は、**救命胴衣**及び**ウエットスーツ**を着用しましょう！
・ウエットスーツを着用することで、落水時のジェット水流からあなたを守ります。
- ③・水上オートバイは、**免許保有者**が自己操縦しなければなりません。
・他の乗り物や構造物、遊泳客と衝突することのない、**広い海域**を選びましょう！



海の安全情報

発航前も、航行中も確認!!

アクセスは
こちらから



千葉海上保安部

〒260-0024

千葉県千葉市中央区中央港 1-12-2

海のもしもは118番！ 電話 043-242-1805 (7238)